

令和5年度第1回庄原市「学びの変革」推進協議会

令和5年6月23日（金） 庄原市総合体育館

「本市児童生徒の『主体的な学び』を促進する教育活動を推進するとともに、学校全体での組織的なカリキュラム・マネジメントの実現に取り組むことにより、児童生徒の資質・能力の向上を図ることを目的に、研修会を行いました。

【講話・実践発表・交流】『『キャリア教育の充実を中核としたカリキュラム開発事業』の取組について』

庄原市立庄原中学校 教諭 玉置 翔大・庄原市教育委員会 指導主事 片山 博子



- 「キャリア教育の充実を中核としたカリキュラム開発事業」の指定校である庄原中学校区の研究推進リーダー、庄原市立庄原中学校玉置教諭が実践発表を行った。その後、グループで各校における「キャリア教育」の改善等に向け、取り入れられそうな点等について協議を行った。
- 自校のキャリア教育全体計画や年間指導計画について見直しを図った。

【交流での意見等】

- ◆育成したい資質・能力のルーブリックを子供の言葉で設定し、共有することで主体的な取組となっている点が参考になった。
- ◆企業の出前授業を計画的に実施することで、生徒は、学びが社会に役立っていることを実感することができていた。授業前には、教科の目標や、具体的な目指す児童生徒像について、出前授業を実施する企業と連携することが大切であると改めて感じた。オンラインで企業との連携もできるため、ぜひ取り組みたい。

【講話・演習】『『本質的な問い』による授業改善について～カリキュラム・マネジメントの充実に向けて～』

広島県教育委員会義務教育指導課 指導主事 丸山 博章
広島県北部教育事務所 指導主事 田丸 亜紀



- 「学びの変革」第3期3年目の取組として、自律的・組織的な校内研修体制の確立が求められる。2年間の取組を基盤にしなが、実施と評価・改善の計画的な取組を行っていく必要がある。
- 全ての教員に求められる4つの力について、自校の実態に応じて、特に重点を置いて取り組むべき力について、協議し共有する中で取組を進めていくこと。

【参加者の感想等】

- ◆庄原中学校区の取組を参考にし、本校のキャリア教育に関わる活動や実践をより充実したものにしていきたい。各学年の取組を記録し、残していくことや実践したカリキュラムを整理し、持続可能な取組にしたい。
- ◆子供たちの姿から、次へつながる授業改善にしていくことが大切であると感じた。教育研究を通して、子供にどのような力をつけたいか、どのような姿の実現を目指すのか、考えながら研究を進めていきたい。
- ◆教職員が身に付けておくべき4つの力のうち、本校の実態に合わせて、高めていきたい力を焦点化していきたい。「学びの変革」の内容や実践について教職員と共有し、全員で取組を進めていく。